

【緑区】令和 4 年第 3 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和 4 年 8 月 31 日 午後 2 時 28 分 ～ 午後 4 時 01 分
場 所	緑区役所 4 階 会議室 4 A B
出席者	<p>【座 長】高橋正治議員</p> <p>【議員：3 名】鴨志田啓介 議員、今野典人 議員、斉藤達也議員</p> <p>【緑区：23 名】岡田展生 区長、河村義秀 副区長</p> <p>宮嶋真理子 福祉保健センター長</p> <p>酒井啓彦 福祉保健センター担当部長</p> <p>新田巧 緑土木事務所長、齋藤優子 担当部長（緑図書館長）</p> <p>ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和 3 年度 個性ある区づくり推進費 決算</p> <p>2 令和 4 年度 個性ある区づくり推進費 執行状況</p> <p>3 令和 5 年度 緑区予算編成の考え方</p>
発言の 要 旨	<p>議題 1 令和 3 年度 個性ある区づくり推進費 決算 (区長、副区長説明)</p> <p>【1 災害に強いまちづくり事業】</p> <p>斉藤議員：減災行動啓発事業で実施した「母親教室での出前防災講話」とは、どのような内容か。</p> <p>齋藤総務課長：妊産婦の方に向けて、子育て家庭に必要な備蓄のポイントや備蓄品のチェックポイントなどをお伝えし、お子様を守るための安全対策の啓発リーフレット等を配付しました。また、災害時に備蓄している離乳食を活用しました。</p> <p>斉藤議員：講話だけで、AED の操作などは行っていないのか。</p> <p>齋藤総務課長：今のところはありませんので、今後の課題とさせていただきます。</p> <p>斉藤議員：備蓄品については非常に良い視点だと思うが、さらに AED 体験などもしていただくと良いと思う。</p> <p>【2 安全・安心まちづくり推進事業】</p> <p>斉藤議員：緑区安全・安心まちづくり推進協議会の啓発活動について、各種キャンペーンが中止になっているが、どのように進めていくのか。</p> <p>中野地域振興課長：振り込め詐欺など特殊詐欺の被害が増えていますので、警察署と連携し、一層進めていきたいと考えています。</p>

齊藤議員：啓発方法としては SNS の活用もあると思うが、SNS を使っていない高齢者の方に対しては FAX が有効だと思う。通信費はかかるが、FAX の活用を提案として申し上げたい。

【5 暮らしの衛生推進事業】

齊藤議員：災害時のペット同行避難について、地域防災拠点の理解は進んでいるのか。

田中生活衛生課長：令和4年度はスターターキットなどを使って取り組んでおり、少しずつ具体的な実績があがってきているところです。

【16 みどり！まるごと応援事業】

齊藤議員：区庁舎でいろいろな直売が行われているのは良い取組だと思うが、区役所前広場で出店しているキッチンカーについて、条件や取決めはあるのか。

齋藤総務課長：通行者の邪魔にならない場所が条件となりますが、区庁舎内のコピー機設置業者に対して、キッチンカーでの販売を許可しています。

岡田区長：以前区庁舎内にあった来庁者向けコピー機の設置業者が撤退し、コピー機の使用を希望される方には駅前のコンビニを御案内していました。昨年度末には区庁舎の地下にあった売店も撤退したという事情もあり、コピー機の設置と併せてキッチンカー販売が可能な業者を募集し、キッチンカーは地産地消のものを使っていたくなどの条件の下、5月から始めたところでございます。

齊藤議員：了解した。私のところに相談があった際には、おつなぎする。

議題2 令和4年度 個性ある区づくり推進費 執行状況

(副区長説明)

【1 災害に強いまちづくり事業】

鴨志田議員：マイタイムラインの普及があまり進んでいないようだが、どう考えているのか。

齋藤総務課長：普及が進んでいないということも踏まえ、区役所から出前講座という形で各自治会に出向き、マイタイムラインの作成方法等含め、その重要性などをお伝えしているところです。

鴨志田議員：マイタイムラインを積極的に設定していただくには「横浜市避難ナビ」もマイタイムラインが設定できるということを前面に

出して、アプリをダウンロードしていただくことが大事だと思うが、いかがか。

齋藤総務課長：その部分を十分にお伝えし、御理解いただきながら進めていきたいと思います。

今野議員：ハザードマップについて、すごくいろいろなことが記載されているが、詰め込み過ぎていて分かりにくいという声が残念ながら町内会から聞かれる。例えば緑区の中をある一定のエリアに分けて、そこを拡大したマップを作ると、町内会レベルでの防災訓練などには良いと思うが、どうか。

齋藤総務課長：現在は1枚のマップに載せていますが、地域の方からそういう声をいただいているということであれば、関係局、危機管理室にもお伝えしながら、検討、改善してまいりたいと思います。

【2 安全・安心まちづくり推進事業】

斉藤議員：振り込め詐欺被害防止事業のバスラッピングによる啓発は良いアイデアだと思う。

【5 暮らしの衛生推進事業】

斉藤議員：災害時のペット同行避難スターターキットについて、現在の配付状況や調整状況はどうか。

田中生活衛生課長：スターターキットを配付する予定の拠点が5か所、調整中の拠点が1か所です。このうち、同行避難の運営訓練実施を決めた拠点が1か所です。これらが10月末位までに訓練を行う予定の拠点ですので、それに間に合うようにキット配付や拠点の委員会等での説明などを進めているところです。

斉藤議員：キットを配付予定の拠点や訓練を実施する拠点とは具体的にどこか。

田中生活衛生課長：取組状況を現時点では公表したくないとお考えの拠点もごございますので、改めて個別のお話をさせていただきたいと思います。

斉藤議員：災害時には恐らく、ペットを同行して避難される方がいらっしゃるので、そういう方の受入れで混乱しないように、この取組を積極的に進めていただきたい。

【7 共に支えあう福祉保健の地域づくり事業】

斉藤議員：民生委員見守り訪問事業について、はがきや手紙などにより事

前に生活状況等を確認することで民生委員の負担を軽減する、とあるが、これは4年度に初めて行うのか、それとも以前から行っているのか。

米岡福祉保健課長：民生委員による独り暮らしの定期訪問事業は平成23年から行っていましたが、令和元年に、75歳以上の独り暮らしから75歳以上世帯に対象を広げました。そのときに、人数の急増による負担を軽減するために事前にはがきをお送りし、訪問の有無を確認するようになりました。対象者が増加してくる中で、4年度に初めて予算化をしたものです。

【14 地域特性データ集作成事業】

斉藤議員：現時点で、どのようなデータを作ろうとしているのか教えてください。

河合高齢・障害支援課長：地域包括ケアシステムの推進や地域福祉保健計画のバックデータとして、また、区の施策を検討する上での参考データとして、作成を進めています。内容としては、政策局のGISシステムを使い、緑区の地図に様々な分布を色分けして表示するなど視覚的に分かりやすくすること、クロス集計により地域の状況がより分かるようにすること、地区単位で状況が分かるようにすること、などを考えています。

斉藤議員：「21 ふるさとみどり魅力発信事業」の緑区プロモーション戦略策定事業でもアンケート調査を行うようだが、これは別々にやっていくのか。それとも、高齢者など福祉系のデータだけでなく、その他のデータも集めて地域特性を表現していくのか。

岡田区長：具体的には病院、介護施設、買い物ができる場所など高齢者に関わる生活の状況だけでなく、防災、少子化、さらには転入者の状況もできる限り把握したいと思っています。どの位の世帯の方がどこに転入してくるのが多いのか、また、転出される方はどこから転出する方が多いのか、小学生がいる世帯は子どもが大きくなって単身で出ていかれるのかなど、分析したいと考えていますが、これから検討をしていく状況でございます。

斉藤議員：緑区の特徴と言えば緑や農業だと思うので、そこもデータに盛り込んでいただきたい。農業に関しては課題がいろいろと出ているが、逆にそれをチャンスに変えていくような取組も進んでいると思う。高齢者や障害者、少子化や防災のほかにも道路関係だと渋滞情報など、様々なデータが取れると思うので、その辺を皆さんが

どの程度まとめていくのか期待をし、推移を見せていただきたいと思う。

【21 ふるさとみどり魅力発信事業】

齊藤議員：緑区遺産カードの7番がないのはなぜか。

尾立区政推進課長：7番については、所有者の方から見学としては入っていただきたくないため、具体的な場所は出さないでほしいという御要望がありましたので、欠番扱いとしています。

齊藤議員：区民の方々からも同じ質問があるかもしれないので、丁寧に対応していただきたい。

【26 きれいなまちづくり事業】

鴨志田議員：毎年地域の皆様には清掃活動などを頑張っているが、ごみの量は増えているのか減っているのか、あるいはごみの種類に変化はあるのか。

柘澤資源化推進担当課長：令和2年度は、コロナ禍でおうち時間が伸びたため、家庭ごみは非常に増えました。一方で、事業活動が止まったため、事業系ごみは減りました。令和3年度は、家庭ごみと事業系ごみがともにコロナ禍前の状況に近付いています。

鴨志田議員：地域清掃したときに拾ったごみの量の増減について、データは取っているか。

柘澤資源化推進担当課長：集計データはありませんが、地域清掃に関してはコロナ禍だから増減したということではなく、通常どおり活動していただいていると感じています。

鴨志田議員：たばこのごみは減っていないという印象だ。例えばボランティアの方々の感想レベルでも構わないので、何か聞いたことはあるか。

柘澤資源化推進担当課長：実感としては、コロナ禍で表に外出する機会が減ったせいか、吸い殻のごみが若干減ったと思っていましたが、また社会活動が再開し、若干増えつつあると感じています。

鴨志田議員：ごみを集積所に捨てる際、ごみ袋を何個も出してはいけないという決まりはないので、軽いプラスチックごみが入ったごみ袋が飛んでいってしまったりする。例えば、区からプラごみは1つのごみ袋に入れて多少重くしてまとめて捨てましょう、といった発信はできないか。

柘澤資源化推進担当課長：分別出前教室などの機会を捉え、飛散防止のた

めにまとめていただくことや、しっかりとカラスいけいけネットボックスに入れていただくことなどを、今後も啓発していきたいと思ひます。

【30 市民活動パワーアップ支援事業】

鴨志田議員：スマホやパソコン講習で高齢者から出た意見、要望などを、データとしてどう蓄えているのか。

中野地域振興課長：高齢者の方向けのスマホ・パソコン教室をみどり一むで週3回、午後に行っており、そこで取ったアンケートを蓄積して次回以降に生かしております。緑区は高齢者向けのデジタル促進に力を入れており、デジタル統括本部が公募していた「デジタルデバイス対策支援事業」にも手を挙げました。提案内容としては、従来から区民の方にスマホ教室をやっている幾つかの団体と手を携えて、緩やかな連携を組み、緑区がまとめて情報共有・交換していくというものです。

鴨志田議員：教えてくれる団体はボランティアか。

中野地域振興課長：一つはNPO法人のMICS（みどりITコミュニティサポーターズ）で、区民の方々が立ち上げた団体です。その他、ケアプラザや神奈川大学の学生など、幾つかの団体と連携して進める事業です。

鴨志田議員：その団体のほか、大手の通信事業者にも関わっていただくなど広く情報交換をすることで、いろいろ分かることもあるかもしれないので、データ収集の視点も持っていただきたいと思ひう。

議題3 令和5年度 緑区予算編成の考え方

（区長説明）

議員からの発言なし

備 考